

# 不二精機株式会社 2018年度 決算説明資料



2019年3月

## おことわり

この開示資料に掲載されている当社の将来に関する計画、戦略などの記述は、現在入手可能な情報による判断に基づいております。

さまざまな要因により、これらの計画などが変動する可能性があることをご承知おきください。

# 2018年度実績



# 2018年度 損益概要(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2017年(前期実績)		2018年(業績予想)		2018年(実績)					
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比		業績予想比	
							増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	5,267	100.0%	6,189	100.0%	6,149	100.0%	882	16.7%	△40	△0.6%
売上総利益	1,254	23.0%	1,455	23.5%	1,431	23.3%	177	14.1%	△24	△1.6%
営業利益	324	6.2%	411	6.6%	418	6.8%	94	29.0%	7	1.7%
経常利益	141	2.7%	276	4.5%	267	4.3%	126	89.4%	△9	△3.3%
当期純利益	122	2.3%	196	3.2%	178	2.9%	56	45.9%	△18	△9.2%

※ 百万円未満を四捨五入して記載しております。

※「業績予想」は2018年11月14日に公表した修正予想値です。

・売上高は、精密金型事業においては、医療機器用金型を中心に前期からのずれ込み分を含め活発な受注が続き、精密成形品事業においては、タイ市場での自動車用部品の一時的なものを含め急激な受注増が発生した結果、前期を16.7%上回りました。

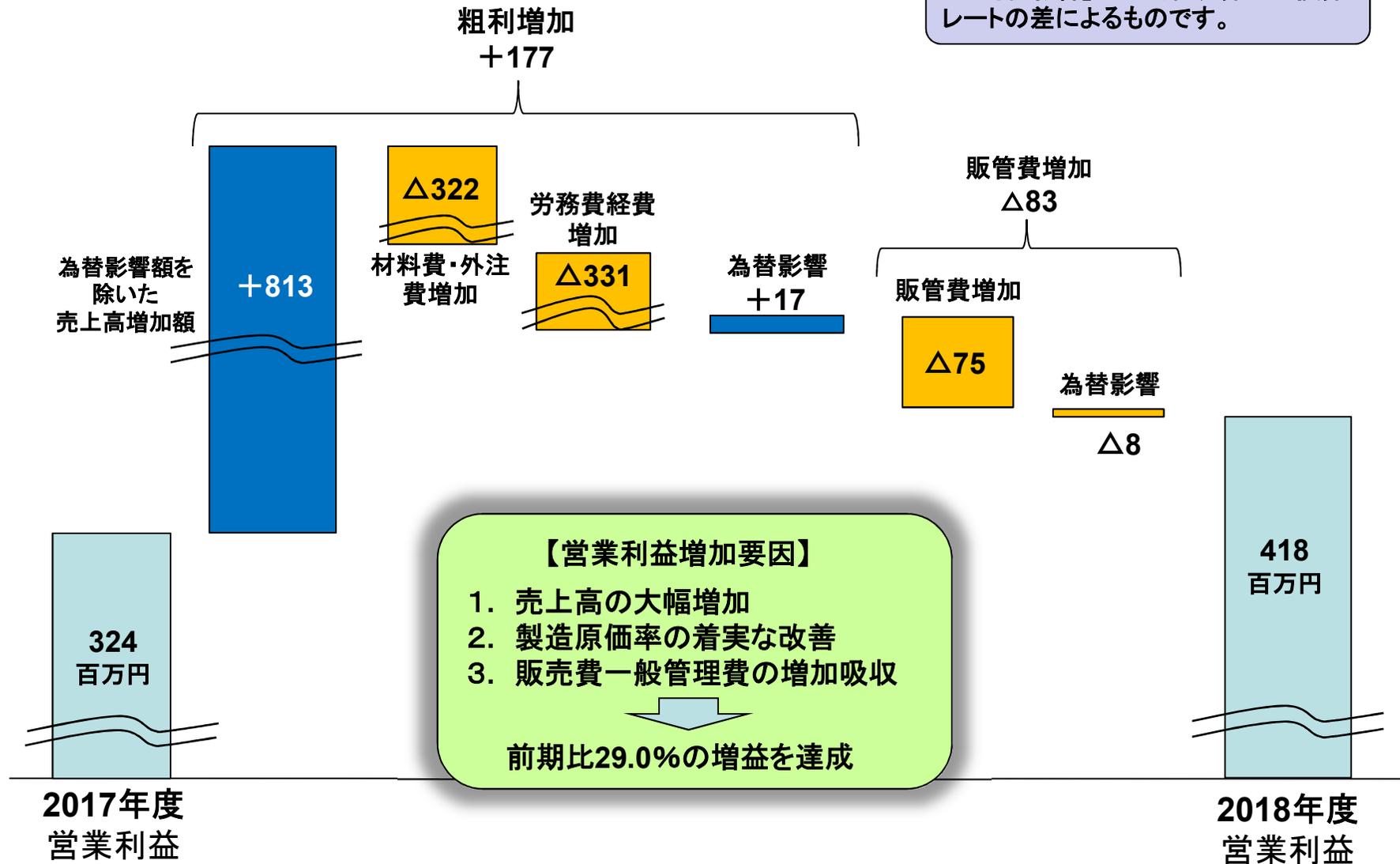
・営業利益は、売上高の増加により前期比29.0%の増益、経常利益は、シンジケートローンの一時費用と支払利息の減少などにより前期比89.4%の増益、当期利益は、増産および生産性向上のための設備投資に対応した旧設備の除却による特別損失を計上した結果、前期比45.9%の増益となりました。

# 2018年度 営業利益(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## ～対前期比増減要因

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートの差によるものです。



# 2018年度 経常利益(連結)

## ～対前期比増減要因

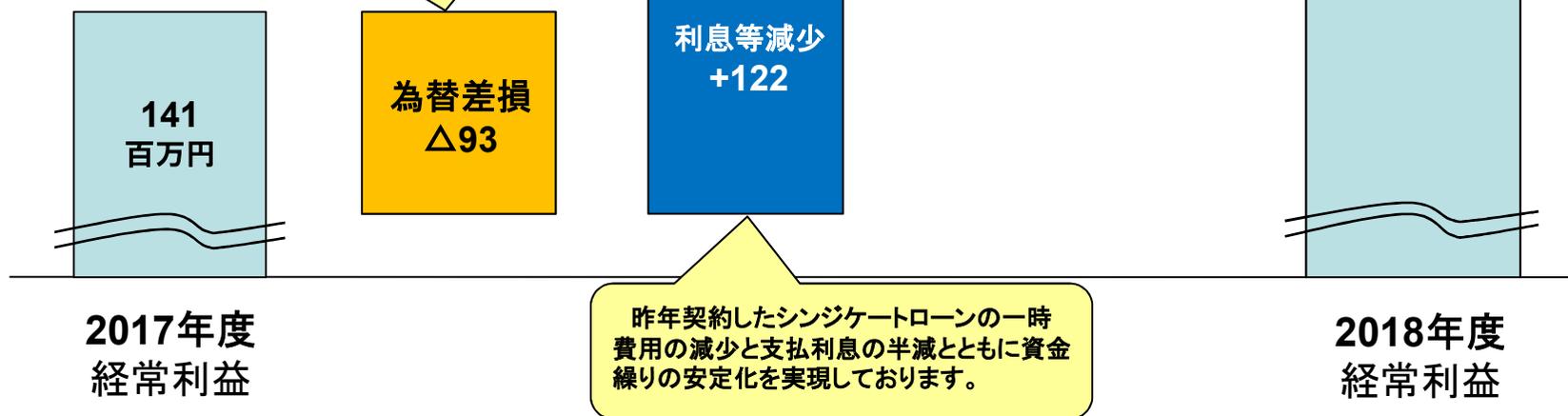
### 【経常利益増加要因】

1. 営業利益の増加
2. 一時費用の減少・金利負担の軽減
3. 為替差損の発生吸収

前期比89.4%の増益を達成

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートによるものです。

★為替差損(56百万円)発生<前期は差益37百万円>  
主としてインドネシア子会社での日本からの円建借入金の  
評価替によるものです。(資金への影響はありません)



昨年契約したシンジケートローンの一  
時費用の減少と支払利息の半減とともに資金  
繰りの安定化を実現しております。

# 2018年度 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

		2017年度(前期)		2018年度			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	主な増減要因
資産	流動資産	3,176	52.3%	3,428	55.1%	252	精密金型事業の受注増に伴う棚卸資産の増加
	固定資産	2,892	47.7%	2,798	44.9%	△93	リース資産の減少
資産計		6,068	100.0%	6,227	100.0%	159	
負債	流動負債	2,918	48.1%	3,123	50.2%	205	短期借入金、1年内社債の増加
	固定負債	2,035	33.5%	1,723	27.7%	△311	長期借入金、社債、リース債務の減少
負債計		4,952	81.6%	4,846	77.8%	△106	
純資産計		1,116	18.4%	1,380	22.2%	265	利益剰余金、資本剰余金の増加
負債・資本計		6,068	100.0%	6,227	100.0%	159	

## 【取組課題】

- ① 売掛債権・棚卸資産の圧縮による有利子負債の削減
- ② 利益の蓄積による自己資本比率の向上

# 2019年度予想



## ☆為替レートの影響について

当社は中国、タイ、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受けます。

売上高、利益などについては、各連結子会社の2018年度の平均レートを基に2019年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2018年度に発生した為替差損56百万円は上記の処理によるものです)

2019年2月14日公表の業績予想は、下記の各レートにより円換算しておりますが、為替レートの影響で、円換算額が変動する可能性があります。

(1通貨当たりの円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
16.20	3.40	0.0074

## ☆精密金型事業の受注～売上計上(顧客での検収)について

当社グループで製造する精密金型の、受注～生産・売上計上(検収)に至るまでの期間は、おおむね5か月程度であります。

従いまして、2019年度上半期の売上高は、前期の受注による受注残高に影響されます。

前期末比  
515百万円増加

2018年度	受注高(百万円)	前期比	受注残高(百万円)	前期比
精密金型 セグメント	2,901	138.1%	1,550	149.8%
2017年度	受注高(百万円)	前期比	受注残高(百万円)	前期比
精密金型 セグメント	2,101	125.8%	1,035	161.1%

# 2019年度 業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

	2018年度実績			2019年度予想			2019年度予想の概要
	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	
精密金型事業	2,365	38.5%	37.3%	2,537	40.6%	7.3%	医療機器用金型の増加
精密成形品事業	3,784	61.5%	6.7%	3,714	59.4%	△1.8%	中国での自動車部品の減少を想定
売上高	6,149	100.0%	16.7%	6,251	100.0%	1.7%	
売上総利益	1,431	23.3%	14.1%	1,484	23.7%	0.5%	精密成形品事業での自動化投資などによる原価率の改善
販売管理費	1,013	16.5%	8.9%	1,121	17.9%	10.7%	中期的な競争力強化のため研究開発投資実施61百万円(前期比55百万円増)
営業利益	418	6.8%	29.0%	363	5.8%	△13.2%	研究開発投資、人的投資の先行的な実施により一時的な減益を予想
経常利益	267	4.3%	89.4%	310	5.0%	16.1%	金利負担減およびインドネシアの開業費償却が前期で終了したことで増益
当期純利益	178	2.9%	45.9%	207	3.3%	16.3%	経常利益の増益により増益

## 【2019年度予想の変動リスク要因】

- ①米中の貿易摩擦による景気減速、為替への影響
- ②中国の環境規制の進捗

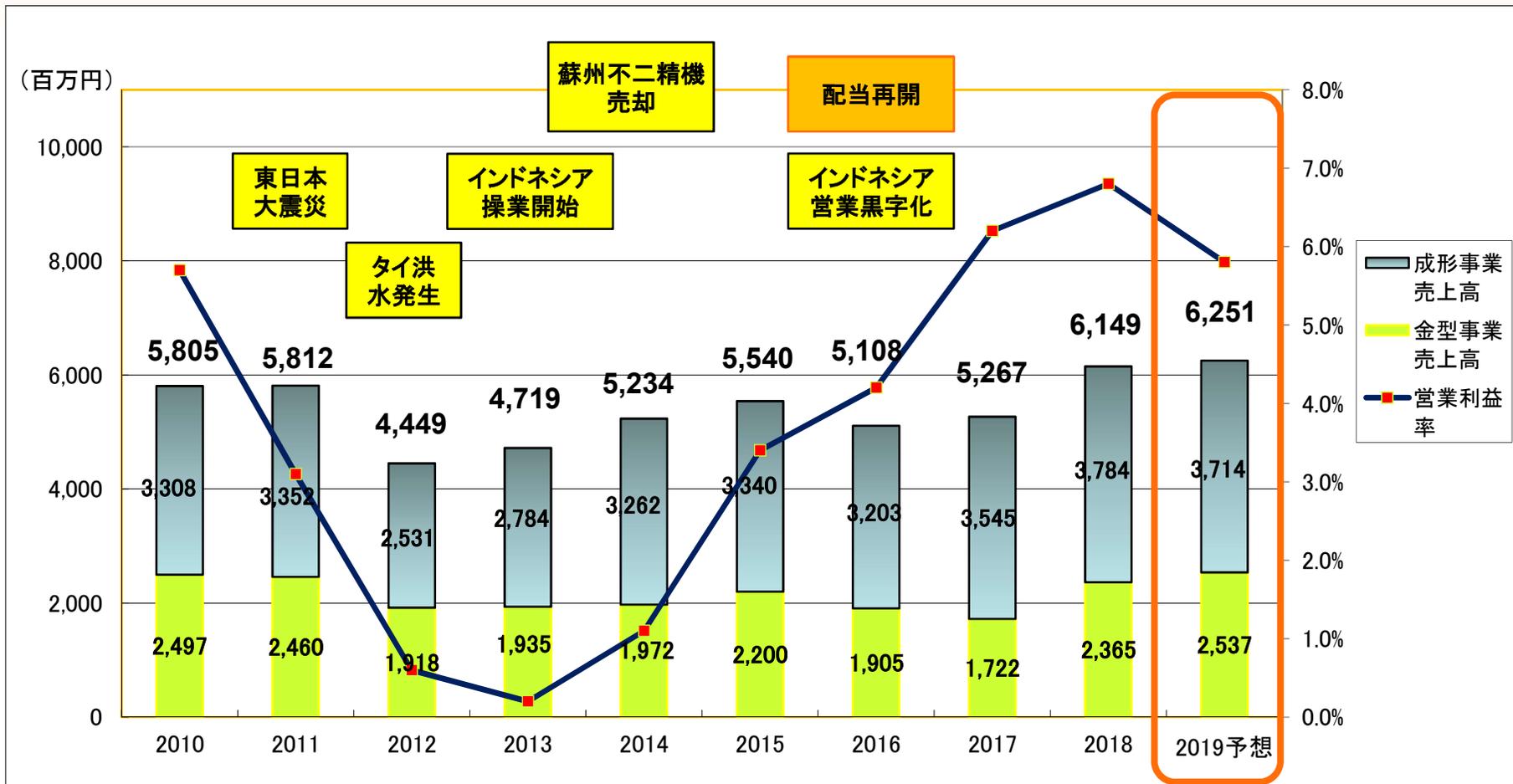
# 直近5年間の業績・財政の推移および2019年度予想

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(単位:百万円)

連 結	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年(予想)
売上高	5,234	5,540	5,108	5,267	6,149	6,251
営業利益	55	189	212	324	418	363
売上高営業利益率	1.1%	3.4%	4.2%	6.2%	6.8%	5.8%
経常利益	26	△53	56	141	267	310
当期利益	△257	△64	39	122	178	207
1株当たり配当(円)	0.00	0.00	3.00	3.00	4.00	4.00
総資産	6,411	5,951	5,193	6,068	6,227	6,403
純資産	1,250	1,114	877	1,116	1,348	1,524
自己資本比率(%)	19.5	18.7	16.9	18.4	21.6	23.8
1株当たり純資産(円)	146.81	130.77	115.49	147.03	174.48	197.25
自己資本純利益率(%) (ROE)	—	—	4.0	12.2	14.5	14.4
設備投資額	462	472	292	287	424	526
減価償却費	281	285	288	298	322	343

# 連結業績 推移(主要イベント)



2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2014年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

2019年度は、2020年以降の増産に備えた設備投資および競争力強化のための研究開発投資61百万円(前期は6百万円)を計画しており、一時的な営業利益の減益を予想しております。

# 配当政策および配当額

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2016年度において、操業開始後3年を経過したインドネシア子会社の営業損益の黒字化を機に13期ぶりに復配させていただいております。その後、東南アジア市場を中心とした自動車関連の精密成形品の受注拡大に伴い、グループ全体の業績が引き続き安定化する方向でありますので、株主還元を高めることが可能であると判断し、2018年度に1株あたり3円から4円に増配することを株主総会で提案いたします。

2019年度は、1株あたり4円の配当実施を予想しております。

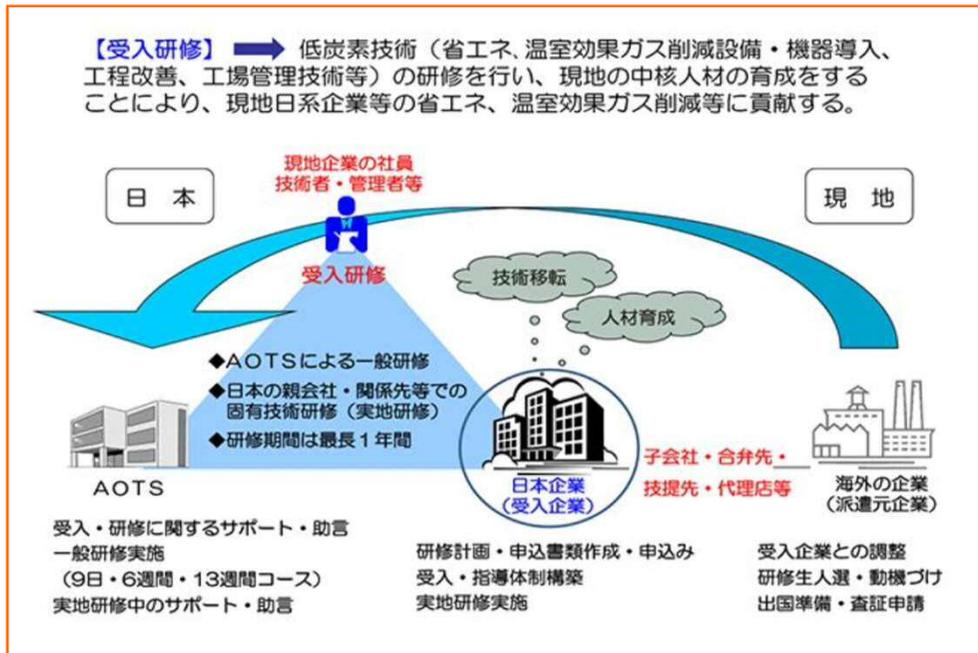
	2019年度	2018年度
(単位:円)	予 想	実 績
中間期	0.00	0.00
期 末	4.00	4.00
年 間	4.00	4.00

子会社の中長期的な技術力向上を目的として、タイおよびインドネシアの子会社の若手従業員に対する計画的な技術研修制度を開始しました。

AOTS(一般財団法人 海外産業人材育成協会)の補助制度の認定をいただき、当社の松山工場で金型技術を中心とした研修を1年単位で毎年繰り返し実施する予定です。

この研修による着実な技術レベルの向上により、子会社の現地での競争力強化および品質管理体制の整備を進めて参ります。

### 【AOTSの受入研修制度】



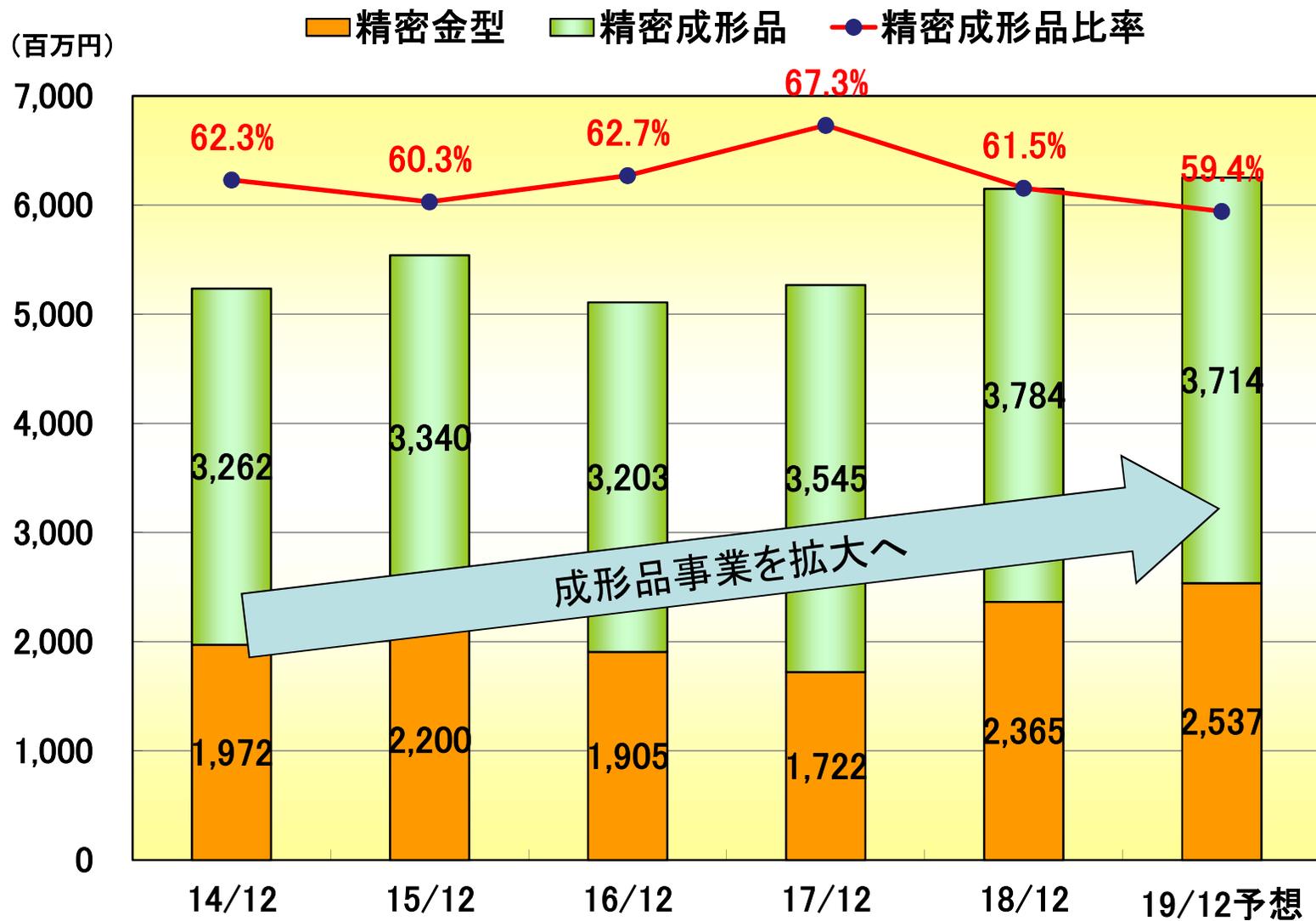
## ご参考

1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品（精密金型、精密成形品）



# セグメント別売上高推移(連結)

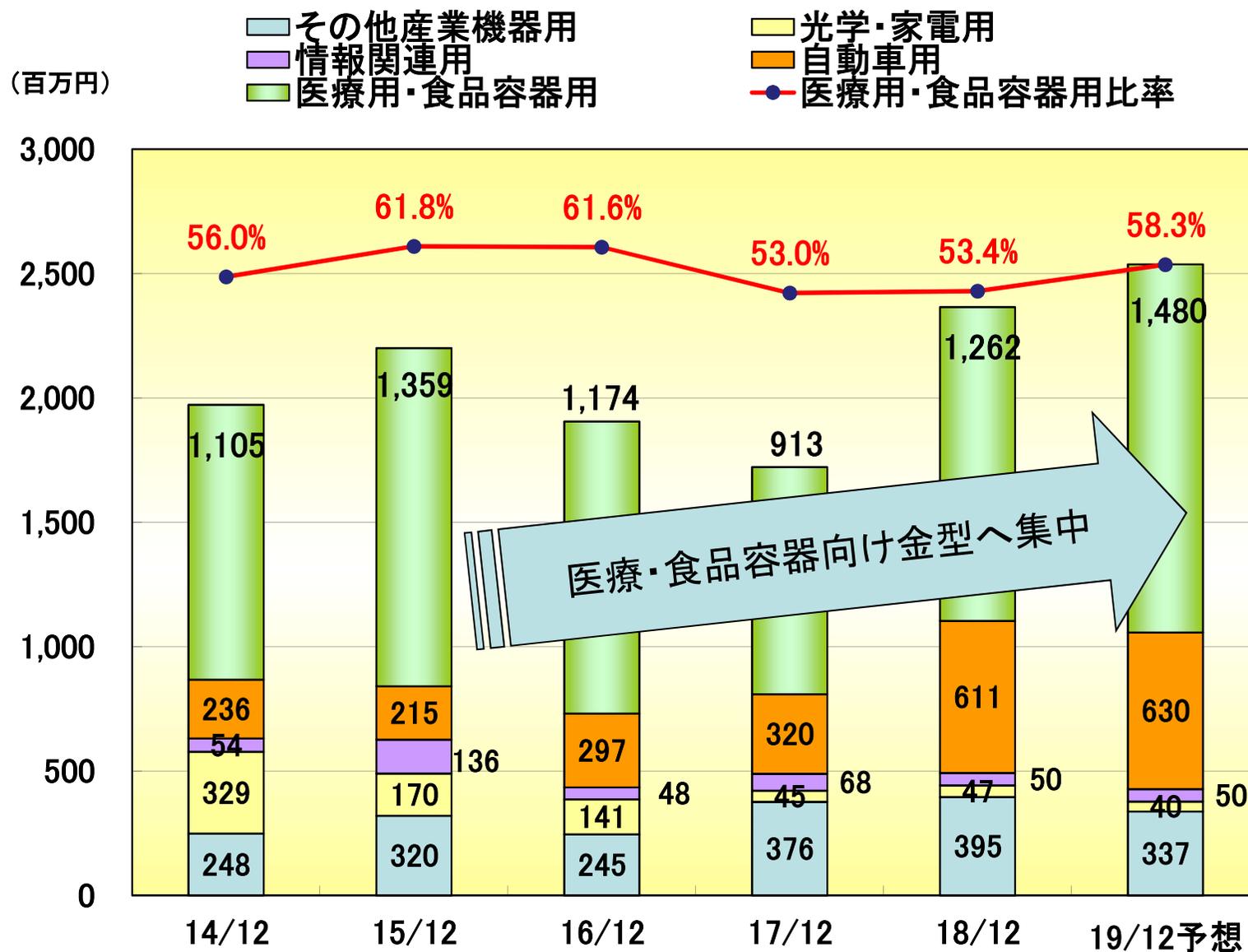
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 精密金型事業 / 分野別売上高推移(連結)

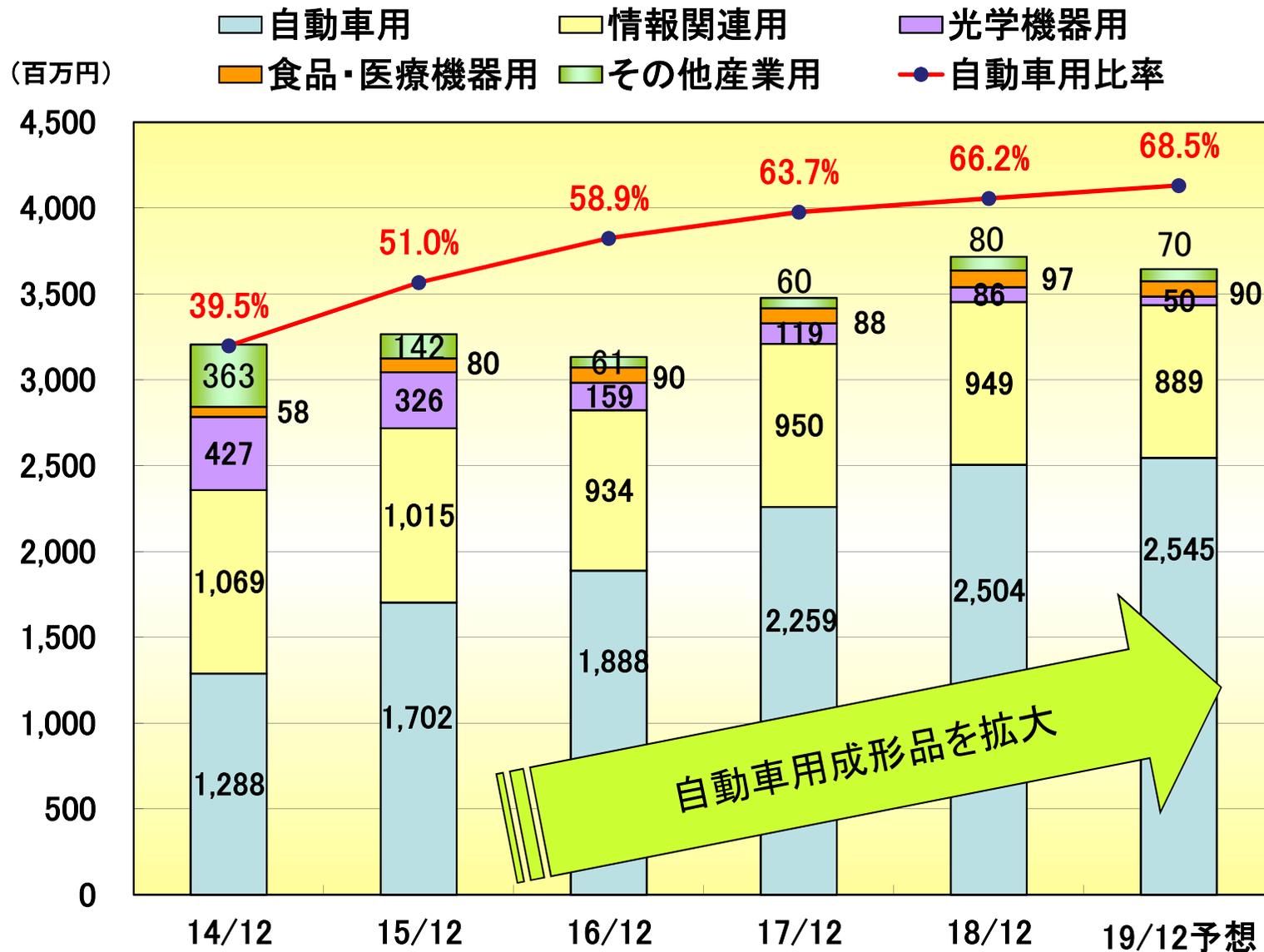
PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI



# 精密成形品事業 / 分野別売上高推移 (連結)

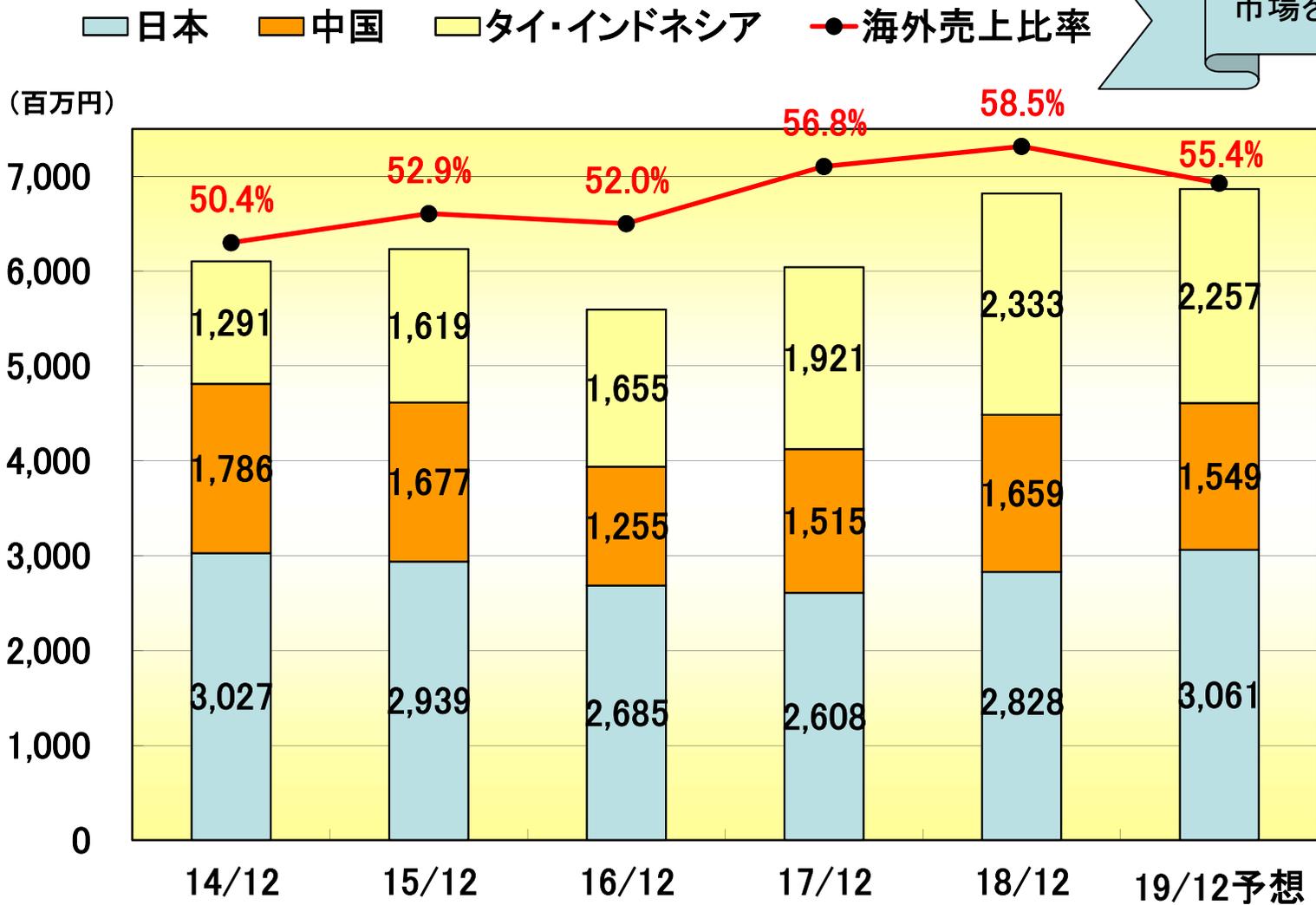
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



# 地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

東南アジア  
市場を拡大



(グループ内売上含む)

# 不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

## 不二精機グループ 494名

### 国内勤務者108名

### 金型事業

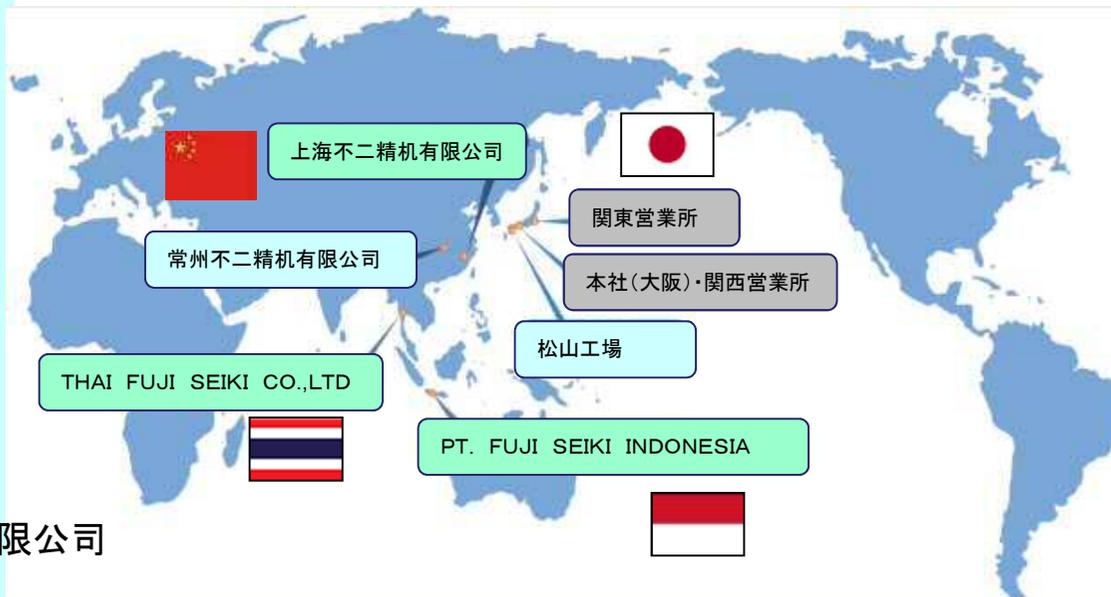
生産拠点2工場



■松山工場



■常州不二精机有限公司



### 営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市)  
関西営業所



■関東営業所

### 成形事業

生産拠点3工場

82名



■上海不二精机有限公司

104名



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

87名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

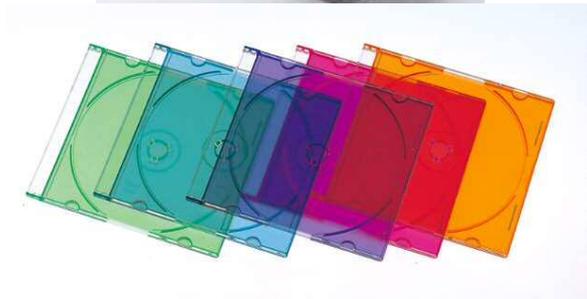
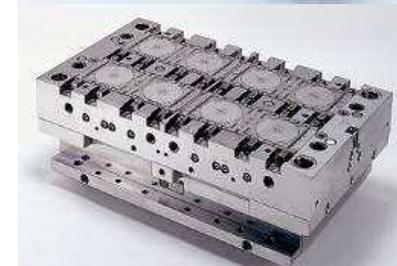
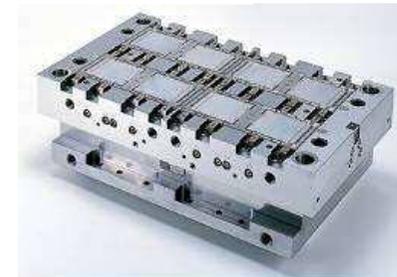
## 医療機器用金型



## 食品関連金型



## 情報関連金型 など



## 主力の自動車関連部品

